

# 令和4年度 事業報告

公益財団法人前橋観光コンベンション協会

## 概要

令和4年度は、新型コロナウイルスの第7波が夏に、第8波が年末にピークを迎えた。この時期は、本来であれば人出が多い時期であったが外出の自粛のため、宿泊、飲食、その他の観光産業は大きな影響を受けた。コロナ発生から3年が過ぎ、ウイズコロナを踏まえた経済活動の活性化が模索されているところである。

このような状況の中、当協会は、感染対策のしにくい事業はやむなく中止にしたが、コロナ前からの形態を変えながら各種事業を実施してきた。また、「道の駅観光案内所」の運営や観光庁補助事業「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」の採択など新たな事業も取り入れながら前橋市及び周辺地域の経済活動に寄与してきた。

## I コンベンション事業

コンベンション主催者となる大学や企業、コンベンション関係団体等から情報を収集、分析し、これらの情報を活用して商談会や説明会、トレードショー等において誘致活動を行うとともに、コンベンションの主催者に対して財政的援助等の支援を行うことにより新型コロナウイルスに対応した「新しい生活様式」でのコンベンション誘致の推進を図った。

### (1) 誘致支援事業

アフターコロナに向けて前橋市への誘客を図るため、前橋市及び周辺地域への大規模コンベンション誘致や中小規模のコンベンション、サテライト会議などを誘致するため、下記事業を実施した。

#### ① 「トレードショー（商談会）等出展」事業

- ・第32回国際MICEエキスポ（IME2023）へ、群馬県コンベンションビューローと共同出展した。

令和5年2月16日（木）

セラー 88団体 73ブース

バイヤー 商談会参加者：289名（国内266名・海外23名）

- ・7都市コンベンション推進団体情報交換会

全国7ブロックの同規模都市、前橋・旭川・秋田・岐阜・姫路・松山・鹿児島で協議会を組織し、各都市で開催したコンベンションの誘致情報交換や主催者招待会（懇談会）を共同開催した。

7都市情報交換会 年7回開催（内4回はZoomによるオンライン開催）

7都市情報懇談会 令和5年1月26日 会場 東京會館

#### ② 「キーパーソン（開催地決定権者）視察受入」事業及び「誘致訪問」事業

- ・首都圏誘致活動として主催団体・学会等の事務局、本部への営業については、直接訪問と併せて新型コロナウイルス感染対策を考慮し電話、電子メールおよびオンライン商談会での誘致活動を実施

- ・ 県内の主催団体・大学関係者等に対するアンケート調査や戸別訪問を実施
- ・ 前橋市及び周辺地域のコンベンション会場視察受入れの実施

③「コンベンション誘致助成」事業

令和4年度誘致促進助成金制度として7件(交付額1,395千円)の助成を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対象コンベンションが中止、延期又はWeb(ハイブリッド含む)開催に変更されたことにより5件(交付額305千円)になった。

【助成したコンベンション】

- ・ 第8回日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 総会・学術集会
- ・ 第49回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会
- ・ 第18回バイオマス科学会議
- ・ 第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会
- ・ 電子情報通信学会 情報理論研究会

④「開催サポート」事業及び「歓迎」事業

コンベンション開催期間中に県外から来訪されるお客様を歓迎するため、JR前橋駅を中心に歓迎フラッグを設置するとともに、前橋の観光パンフレットやコンgresバッグ、オリジナルクリアファイル、「前橋の天然水アカギノメグミ」を主催者へ提供し前橋をPRした。

【誘致・支援したコンベンション】

合計 20件/5,579人(前年度 9件/5,980名)

- ・ 国際ロータリー第2840地区2021-2022年度地区大会 /4月/750名
- ・ 第8回日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会総会・学術集会 /7月/50名
- ・ 関東ブロック母子生活支援施設研究協議会 /7月/40名
- ・ 第54回日本医学教育学会大会・プレカンファレンス/Welcome Reception /8月/240名
- ・ 日本のガールスカウト運動100周年記念インターナショナルキャンプ /8月/130名
- ・ 第50回全日本社会人ソフトテニス選手権大会 /9月/1,500名
- ・ 日本解剖学会第110回関東支部学術集会 /10月/50名
- ・ 第41回日本医学哲学・倫理学会大会 /10月/130名
- ・ 児童養護施設関東ブロック協議会 /10月/19名
- ・ 関東甲信造園建設業協議会 /10月/70名
- ・ 第33回全日本都市職員バドミントン大会 /11月/700名
- ・ 令和4年度市町村教育委員会研究協議会(東日本大会) /11月/480名
- ・ 全国大気汚染防止連絡協議会全国大会 /11月/150名
- ・ 第49回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 /11月/150名
- ・ 第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会 /11月/200名
- ・ 第18回バイオマス科学会議 /11月/120名
- ・ 第5回ころとんマスターズスイムミーティング /12月/510名

- ・電子情報通信学会 情報理論研究会 /1月/ 60名
- ・日本リハビリテーション医学会関東地方会生涯教育研修会 /2月/100名
- ・2022年度第4回（IOT 通算第60回）研究会 /3月/130名

⑤「ニューイヤー駅伝」支援

群馬県庁前へ「歓迎看板」の掲示、郷土芸能（八木節、華龍太鼓）の披露、参加チーム・役員へ「前橋の天然水アカギノメグミ」の贈呈、宿泊施設やJR前橋駅構内などへ歓迎横断幕及びフラッグを設置することで支援を行った。

⑥ユニークベニューを活用した事業

国指定重要文化財「臨江閣」をユニークベニュー会場とした誘致・開催  
第54回日本医学教育学会大会・プレカンファレンス/Welcome Reception  
/8月/240名

⑦コンベンション開催に付随したエクスカージョン事業

第3種旅行業によるテクニカルツアーの企画・実施 /12月/20名

(2) 広報宣伝事業

コンベンションの啓発

地元主催者、市民及び賛助会員に対し、コンベンション活動を理解していただくため、当協会発行の協会報等により、各種事業を紹介しPR活動を行った。

(3) 企画調査事業

①コンベンション開催スケジュールの調査

コンベンション情報を収集提供するため、市内のコンベンション開催予定を調査し、スケジュール表としてまとめた。

②JCCB総会、部会等への参加

日本コングレスコンベンションビューロー（JCCB）総会及びビューロー部会に参加し、コンベンションに関する情報収集及び意見交換を行った。

- ・JCCBコンベンション・ビューロー総会（R4.6.20・四谷）
- ・JCCBコンベンション・ビューロー部会（R4.10.20～21・上越）
- ・タスクフォース主催JCCB会員交流会（R5.2.15・四谷）

(4) 人材育成啓発事業

①受入業界情報交換

来橋者に直接的に接遇する施設関係者との意見交換会の実施

②職員参加研修

職員の資質向上のため各種研修会への参加

- ・JCCBコンベンション産業部会MICEセミナー（R5.3.6・渋谷）

③コンベンション受け入れ関連業界との事業共催の実施

- ・前橋地区タクシー協議会乗務員講習会  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
- ・前橋旅館ホテル協同組合研修会

## II. 広報宣伝事業

前橋市及びその周辺地域の観光資源の宣伝と観光客誘客促進のために観光PR活動やフィルムコミッション事業を下記のとおり実施した。

### 1 観光資源の造成

#### (1) フィルム・コミッション事業

映像文化の振興を始め、観光振興、撮影現場となった地域の新たな価値の発見、撮影隊が現地に留まることに伴う経済効果など、多方面で地域の活性に寄与した。

##### ① 映画、テレビ番組、コマーシャルフィルム等の撮影支援及び撮影の誘致

制作者からの依頼により、撮影候補地紹介、エキストラ等出演依頼の対応、撮影下見、撮影立会い、許可申請調整等を行った。

- ・ 受付件数 75件（前年度83件）
- ・ 撮影実績 17件（前年度31件）
- ・ 経済効果 2,355千円（前年度12,776千円）（直接消費分）

ジャンル	市内撮影件数
映画	6件
連続テレビドラマ等	3件
コマーシャル	2件
その他	6件
合計	17件

##### ※市民サポーター（撮影ボランティア）

エキストラ登録者数：1,139名（前年度より37名増）

##### ② 映像文化啓発、情報発信事業

ホームページ、各種雑誌、ラジオ、ポスター、などでフィルムコミッション事業について周知を図った。

- ・ 映画ロケ地パネル貸し出し 令和4年8月6日（土）  
場所：東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校
- ・ 映画「ハウ」公開記念写真展  
期間：令和4年8月5日（金）～9月16日（金）  
時間：10：00～22：00（入場無料）  
場所：ユナイテッド・シネマ前橋（けやきウォーク前橋内）
- ・ 前橋工科大学講演 令和5年1月17日（火）14:00～16:00  
「建築史特論（大学院開講科目）」

## (2) 新たな観光資源開発のための旅行事業

### ① 着地型ツアー等の研究、造成

シェアサイクル cogbe を活用した自転車による着地型ツアーの社会実験を行った。

期間：令和4年10月1日(土)～11月30日(水) 9:00～17:00

場所：前橋駅観光案内所にて受付

まちなかの広瀬川沿いを中心に車・徒歩ではアクセスしにくいスポットを回るモデルコースとして設定(所要時間2～3時間)

料金：無料(シェアサイクル利用料はお客様の自己負担：1時間200円)

参加者：12名

### ② 民間事業者等を対象とした体験観光商品づくりの支援等

- ・体験観光商品づくりのサポートを行うとともに、オンライン体験予約サイト「アソビュー！」と連携し、県外客向けに「前橋くらし旅博覧会」の参加者募集を行った。また、本年度初めて、新道の駅を活用した体験と物販のマーケットを実施した。

前橋くらし旅博覧会 参加事業者数 23 事業者(一部は催事にて物販)

造成体験プログラム数 11 件

事業者向けセミナー 1 回

- ・レンゲツツジの名所である白樺牧場内を散策する特別ツアーを赤城山頂の事業者と共同実施することで、誘客を図るとともに牧場内のレンゲツツジ保護を啓発した。

参加者 初夏(ツツジ) 120 件 218 名 直接経済効果 911,500 円

秋(紅葉) 32 件 55 名 直接経済効果 220,000 円

- ・自然保護団体が実施する赤城山エコツアーの広報協力を行った。

### ③ ガイド人材の育成

- ・観光案内所で観光案内に従事するスタッフを中心に、訪日観光客の受け入れも視野に入れた研修等を実施した。

- ・外国人おもてなし及び語学研修 3月7日・15日(終日)

- ・赤城山周辺現地研修 3月14日(終日)

### ④ 訪日外国人向けのサイクリングツアープランの造成

過去のツアープランの内容を見直しと併せ、国外向けの販売サイトの掲載内容の充実を図った。

## (3) サイクルプロジェクトの推進

### ① 赤城山周辺のエリア連携の推進

行政区をまたいだサイクリングイベント「赤城山一周ライド」や、サイクリストを対象としたスタンプラリーなどを実施し、赤城山を中心とした広域エリアの連携を深め、一体的な魅力向上を図った。

- ・AKAGI サイクルスタンプラリー(8月11日～10月31日) 参加人数:247名

・ぐるポタ AKAGI (8月11日～10月31日) 参加人数:24名

・赤城山1周ライド (10月29日)

1周コース 申込数:91名 ハーフコース 申込数:11名

## ②サイクリストを面的に受け入れるための環境整備の推進

サイクリング中の休息や簡易な自転車修理ができる拠点(サイクルオアシス)を13か所(前橋市5か所、桐生市3か所、みどり市2か所、渋川市3か所)新設し、サイクリスト受入の面的整備をすすめた。(3月末現在94か所)

## ③新たな観光価値の創造とプロモーション

道の駅に新設したサイクルステーションにおける情報発信や、地域の魅力を伝えるe-Bikeサイクリングツアー等を企画・実施した。

・e-Bikeサイクリングツアー

5/28 AKAGI PIG-OUT CAMP(1日目)ミニサイクリングツアー 参加人数17名

5/29 AKAGI PIG-OUT CAMP(2日目)ミニサイクリングツアー 参加人数8名

8/6 赤城山らんたん祭りミニサイクリングツアー 参加人数18名

2/23 いちご狩り&パワースポット巡り 参加人数6名

2/25 春の訪れを発見!地域グルメツアー 参加人数5名

3/5 田舎まんじゅう作り体験と蔵カフェを巡るツアー 参加人数2名

3/25 河津桜と古民家カフェのリトリートサイクリング 参加人数6名

3/26 河津桜と古民家カフェのリトリートサイクリング ⇒雨天中止

・インバウンドツアー受入

11/1 赤城山ヒルクライムツアー(アメリカ) 1名

11/7 赤城山ヒルクライムツアー(シンガポール) 2名

・その他対応(視察受け入れ等) 34件

6/23 中之条農&観ツーリズム事業体 視察受け入れ対応 4名

8/24 市立前橋高校 探究プログラム赤城大沼 33名 ほか

## 2 観光PR事業

### (1)観光展・キャンペーンの実施・参加

#### ①観光キャンペーン・前橋市及び赤城山周辺エリアのプロモーション事業

・ホームページ等のインターネット媒体やオンラインを活用したプロモーションの実施

・群馬県観光物産国際協会等主催観光展への参加

・県内外の各種イベントへのブースの出展(山フェスタ等)によるプロモーションの実施

#### ②宣伝用ノベルティの配付

・前橋市及び赤城山周辺エリアの魅力発信のための各種キャンペーンやプロモーションを行い、ノベルティやパンフレットを配付

## (2) マスコミ説明会・観光キャラバンの実施

首都圏等のマスコミ・旅行会社等への情報発信及び取材受入等

- ・「10 県合同旅行マスコミ向け記者発表」の活用（毎月第 3 火曜日/随時）
- ・各種マスコミからの取材対応

## (3) 観光資源の広報宣伝

前橋市及び赤城山周辺エリアの宣伝・イメージアップや魅力発信のために各種媒体を通して積極的な宣伝活動・情報発信を行った。

### ① 着地型観光パンフレット等の作成・設置

観光案内所や前橋市内のホテル・旅館などで観光案内に活用する着地型観光パンフレット等の作成及び設置。観光客の復調、新道の駅オープンに対応するため、作成部数を増やした。

- ・前橋観光情報誌（まちたびまえばし） 55,000 部
- ・赤城山観光情報誌（AKAGIFT）秋冬号・春夏号 各 15,000 部 計 30,000 部
- ・前橋全域マップ（まえばし観光マップ） 20,000 部
- ・まちなか案内マップ（前橋まちなか&新前橋駅周辺マップ） 20,000 部
- ・赤城山登山ルート案内マップ（百名山赤城山マップ） 35,000 部

### ② テレビ、新聞、雑誌、ラジオ等への情報提供、タイアップ及び広告の掲出

- ・ムック本「絶景サイクリング旅」タイアップ記事広告の掲載
- ・ナショナルジオグラフィックトラベラーUK Web 版への記事広告掲載
- ・赤城山を舞台にしたアニメのキャラの等身大パネル掲出（ロイヤリティ広告）
- ・自転車旅サイトへの記事広告の掲出
- ・まえばしCITYエフエムによる観光情報発信（毎月第四木曜日に出演）
- ・上毛新聞「前橋市市制施行 130 周年特集」（約 30 万部）
- ・毎日新聞「第 67 回全日本実業団駅伝（ニューイヤー駅伝）」特集（約 22 万部）
- ・毎日新聞「日本展望 2022」特集企画～東日本の観光物産特集～（約 22 万部）
- ・旬刊旅行新聞 北関東特集（群馬・栃木・茨城）（約 3 万 2 千部）
- ・読売新聞（別刷）群馬県民の日特集（群馬県版 約 183 千部）
- ・リビング埼玉「赤城南面千本桜まつり」  
（埼玉サンケイリビング新聞/15 万 9 千部）

### ③ WEB を活用した広報宣伝及びプロモーション事業

- ・観光公式ページ「前橋まるごとガイド」を活用し、前橋市の観光情報や魅力の発信を行い、交流人口と消費額の増加を推進。（年間アクセス数 1,581,578 件 前年比 133%）
- ・赤城山ポータルサイト「AkagiTrip」を活用し、赤城山周辺エリアの魅力発信を行い、交流人口と消費額の増加を推進。（年間アクセス数 335,172 件 前年比 112%）
- ・SNS (Facebook、Twitter、Instagram) による情報発信及びプロモーション



- ・ 検索サイト用及びSNS用に誘客促進のための広告を掲出
- ・ 観光、コンベンション振興を目的とした広報活動用の写真貸出サイト（フォトライブラリー）の充実
- ・ ホームページアクセスデータによる観光需要者の傾向分析

④前橋駅イーサイト内デジタルサイネージ、前橋駅電光掲示板、ライブカメラを活用した観光情報発信

⑤プロモーション用の写真や動画の撮影

#### (4) 旅行業者等への情報提供、問い合わせや商談会への参加

①ググっとぐんま観光宣伝推進協議会が主催する商談会「ぐんまの魅力を発見！観光プロモーション会」に参加し、道の駅オープンや赤城山の冬のアクティビティ等の広報を行った。

10月19日（水） 会場：品川プリンスホテル

②雑誌社や旅行エージェントへの観光情報や写真素材の提供（随時）

③旅行会社への企画提供・誘客促進

- ・ JR、はとバス、クラブツーリズム等の旅行会社に対し、各種ツアーの企画提案による前橋市への誘客促進

### 3. 観光団体・施設等との連携推進

#### (1) 他団体と連携した広域観光の推進

①両毛線沿線のほほん連絡協議会事業

- ・ 両毛線沿線6市、JR東日本高崎支社、群馬県と連携し、両毛線沿線地域のプロモーションとして特設サイト開設、スタンプラリー等の実施
- ・ 本事業にかかる連携イベント「和のコトAsobi」の実施 11月3日～9日
- ・ 両毛線沿線のほほん連絡協議会 JR大宮駅キャラバン 9月27日

②ググっとぐんま観光宣伝推進協議会事業

- ・ 同協議会と連携し、継続的に素材の磨き上げや観光宣伝・プロモーション実施

③前橋市内宿泊施設と連携したPR事業

- ・ 前橋に泊まって当てようキャンペーン

期間① 6月1日～8月31日 応募者数 858件（県外80%）

期間② 12月21日～2月28日 応募者数 639件（県外83%）

（※内全国旅行支援実施期間1月10日～2月28日含む） 計1,497件（県外82%）

④インバウンド啓発事業

- ・ インバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進するため、前橋市と連携し、国の重要文化財である臨江閣に多言語化した案内板や案内ルートを整備した。また、ユニークメニューとしての利用促進をするため、利用メニューの整備を行った。

(観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」)

- ・インバウンド受入を視野に、旅館ホテル、観光施設、物販店などの各団体と連携し、ワーケーションの検討や観光客受け入れの高付加価値化等、新たな受入体制の構築
- ・多言語ユニバーサル情報発信ツールの活用 (パンフレットデータ化)
- ・窓口での外国語対話アプリの活用
- ・ホームページの多言語化

## 4. 観光案内所等の運営

### (1) 観光案内所の運営

周辺の観光ゲートウェイとして、タイムリーな観光情報を提供することにより、観光客の利便性を向上させる。また、JNTO 認定観光案内所として資質を維持するとともに、来訪客の問合せ数やその内容についてデータ収集を行う。

①「前橋駅観光案内所 (前橋駅構内)」の運営。JNTO カテゴリー 1

来所人数 4,249 人 (前年度 2,403 人)

②道の駅まえばし赤城観光案内所を令和 5 年 3 月 21 日 (火・祝) に開所。

JNTO カテゴリー 2 (申請中) として前橋市を中心とした広域観光情報を提供。

来所人数 13,751 人 (3 月 21 日～31 日の 11 日間)

### (2) 県立赤城公園ビジターセンターの管理、運営 (受託事業)

県立赤城公園ビジターセンターでの案内や現地でしかわからないリアルタイムな情報の発信

来所人数 57,264 人 (前年度 44,086 人※前年度は赤城自然塾が管理、運営)

## III. 観光振興事業

観光客誘致を目的としたイベント等の主催団体に対する財政的支援や、観光振興のための支援、環境整備等の事業を下記のとおり実施した。

### 1. イベントの開催

#### (1) まつり行事、イベント等の実施及び助成

集客力が高く、観光客の誘致や都市イメージアップ等に貢献できるイベント等の運営、開催経費の一部負担などを行った。

①主催事業 (3 件)

- ・前橋観光百景写真コンテスト 応募 126 人 出品点数 489 点  
(前年度 応募 117 人 490 点)
- ・赤城神社参道松並木とつつじの道ウォーキング 5 月 3 日 参加者 101 名
- ・粕川町つつじが峰トレッキング 5 月 15 日 参加者 63 名

## ②共催及び後援行事

赤城南面千本桜まつり（4月2日～17日）  
赤城山新緑&つつじウィーク（5月28日～6月26日）  
ローズクィーンコンテスト（最終審査6月6日）  
七夕まつり（7月1日～10日）  
前橋花火大会（8月13日）  
前橋まつり（10月8日～9日）  
初市まつり（1月9日）  
上州空っ風凧揚げ大会 in 前橋（2月12日）   ほか           計   40事業

## 2. イベントへの支援等

### (1) 補助金等の交付

市内で開催される各種まつり・イベント等、前橋の観光振興に寄与する事業へ補助金等の交付を行った。

#### ①補助金

前橋八木節協会事業  
前橋華龍太鼓振興会事業  
前橋文学館友の会事業  
酉の市まつり  
ばら園まつり

#### ②協賛金

朔太郎音楽祭 2022  
前橋ふびす講

### (2) 観光振興のための二次交通支援、環境整備

まつり・イベント等の来訪者や観光客の利便性を高めるため、二次交通支援としてバスやタクシーの運行補助や観光資源の環境整備を行う。

#### ①二次交通支援

会場までのバスを安価で臨時運行するなど、来訪客の利便性を高めることで集客を図ることを目的として、赤城南面千本桜の開花時期にあわせて、バスを運行した。

##### ・JR 前橋駅発

運行日：4月2日～17日（16日間）                   乗車人数：453人

##### ・上毛電気鉄道あかぎ駅発

運行日：4月1、2、8、9、15、16日（6日間）   乗車人数：87人

#### ②環境整備

イベントで使用する遊歩道等の安全管理のため下草刈り等を実施

##### ・つつじが峰ウォーキングコース周辺整備

- ・白樺牧場レンゲツツジ保護ボランティア支援業務
- ・旭の滝周辺除草作業

### (3) イベントプロデュースおよび人的支援

民間事業者が行う観光誘客に寄与するイベント等に対し、各種アドバイスや運営協力等の人員支援を行った。

- ・AKAGI PIG-OUT CAMP
- ・赤城山らんたん祭り
- ・AKAGI WHITE WEEK など

## IV 法人の管理運営

### (1) 会議の開催

定款に基づき、理事会、評議員会等を次のとおり開催し、重要事項を審議・決定した。

#### ① 理事会

- |       |     |   |
|-------|-----|---|
| ・ 第1回 | 期 日 | 令和4年4月15日（金）  |
|       | 場 所 | 書面による表決   |
|       | 議 題 | (1) 顧問の委嘱について<br>(2) 書面決議による臨時評議員会の開催について   |
| ・ 第2回 | 期 日 | 令和4年5月26日（木）  |
|       | 場 所 | 前橋市中央公民館 501・502 学習室  |
|       | 議 題 | (1) 理事長及び専務理事の職務執行状況の報告<br>(2) 令和3年度事業報告について<br>(3) 令和3年度決算報告書(案)について<br>(4) 令和4年度定時評議員会の開催について<br>(5) 理事の利益相反取引の報告について<br>(6) 理事の利益相反取引の報告について |
| ・ 第3回 | 期 日 | 令和4年6月14日（火）  |
|       | 場 所 | 書面による表決   |
|       | 議 題 | (1) 代表理事(理事長)の選任について<br>(2) 専務理事の選定について   |
| ・ 第4回 | 期 日 | 令和4年7月11日（月）  |
|       | 場 所 | 書面による表決   |
|       | 議 題 | (1) 書面決議による臨時評議員会の開催について  |
| ・ 第5回 | 期 日 | 令和5年1月6日（金）   |
|       | 場 所 | 書面による表決   |
|       | 議 題 | (1) 書面決議による臨時評議員会の開催について  |

- ・第6回 期 日 令和5年2月1日(水)  
 場 所 書面による表決  
 議 題 (1) 観光専門委員の委嘱について  
 (2) 委託契約の承認について
- ・第7回 期 日 令和5年2月22日(水)  
 場 所 前橋市中央公民館 505 学習室  
 議 題 (1) 理事長及び専務理事の職務執行状況の報告  
 (2) 道の駅「まえばし赤城」内の観光案内所について  
 (3) 前橋スポーツコミッション業務の移管について  
 (4) 令和4年度収支予算の補正(案)について  
 (5) 令和5年度事業計画(案)について  
 (6) 令和5年度収支予算書(案)について  
 (7) 令和4年度臨時評議員会の開催について  
 (8) 協会ホームページ保守管理業務委託契約の承認  
 について

## ② 評議員会

- ・臨時 期 日 令和4年4月27日(水)  
 場 所 書面による表決  
 議 題 (1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について  
 (2) 理事の辞任に伴う補欠選任について
- ・定 時 期 日 令和4年6月14日(火)  
 場 所 前橋市中央公民館 501・502 学習室  
 議 題 (1) 令和3年度事業報告について  
 (2) 令和3年度決算報告書について  
 (3) 理事の任期満了に伴う選任について
- ・臨時 期 日 令和4年7月20日(水)  
 場 所 書面による表決  
 議 題 (1) 理事の辞任に伴う補欠選任について
- ・臨時 期 日 令和5年1月18日(水)  
 場 所 書面による表決  
 議 題 (1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について  
 (2) 理事の辞任に伴う補欠選任について
- ・臨時 期 日 令和5年3月16日(木)  
 場 所 前橋市中央公民館 501・502 学習室  
 議 題 (1) 令和4年度収支予算の補正について  
 (2) 令和5年度事業計画について  
 (3) 令和5年度収支予算書について

## ③ 観光専門委員会

期 日 令和5年2月17日（金）  
場 所 前橋商工会議所会館 3階 常議員会室  
議 題 (1) 観光地域づくり法人について  
(2) 令和5年度事業計画について  
(3) 令和5年度収支予算について

## (2) 賛助会員加入促進

本協会の事業に賛同し、運営に必要な経費に充てる賛助会費（寄付）を支援していただける会員の募集に務めた。

（令和4年度会員数327会員、賛助会費額7,040千円）

## (3) その他財団運営に必要なこと

- ① 経理業務
- ② 庶務業務
- ③ 事務所維持管理
- ④ インターネットを活用した広報及び情報提供
- ⑤ 職員研修の実施
- ⑥ その他